

産業・観光・医療を活かした広域振興～知多半島はやっぱり一つ！～

知多半島は、大都市名古屋の南部に位置し、5市5町で構成され、周囲は伊勢湾、三河湾に囲まれている。

古くから、豊かな自然を活かした、農業、畜産業、漁業、水産業、窯業、醸造業などが盛んであり、歴史と伝統を兼ね備える。伊勢湾側の臨海部においては、鉄鋼業を中心とした工業立地がなされる一方で、自動車産業の一大集積地である、西三河地域からも近く、企業誘致が進むと同時に、名古屋市及び西三河地域のベッドタウンとしても栄えてきた。

好立地を生かした、産業、及び観光により発展をし、更なる深化が期待されている。

新政あいち 知多半島



～知多半島のそれぞれの市町のお宝、みつけた！（あまり知らない他市町のお宝）～

それぞれの市町には、それぞれの素晴らしい特徴があり、魅力がある。その一つ一つを、『知多半島』の宝と捉えて、活かしていけば、より一層の地域発展につながると考える。

半田市 山車、蔵、運河、赤レンガ、彼岸花、ミツカン、新美南吉、

東海市 鉄鋼、聚楽園大仏、坂角、旭軒カゴメ、ふき、洋蘭、細井平洲、

大府市 金メダル、健康都市、ぶどう、梨、木の山芋、東海道線、

知多市 梅、ウイスキー知多、知多木綿、ペコロス、ブルーサンビーチ、発電所、

常滑市 招き猫、常滑焼、海苔、BOATRACE、大野海岸、お笑い、

東浦町 於大の方(徳川家康の母)、巨峰、家具、オープンスクール、

武豊町 たまり醤油、浦島太郎、発電所、壺町田湿地、武豊(騎手)、

阿久比町 平家ほたる、みんなの菊花展れんげちゃん、美人そば、球場

美浜町 みはまっこみかん、恋の水神社、音吉、潮干狩、灯台、南知多ビーチランド、

南知多町 内海海水浴場、たこ、ふぐ、羽豆岬、オリーブ、芝桜、福祉旅館、島、

半島全体 セントレア、衣浦港、道路コンセッション、あいち健康の森、アイアンマン、知多牛、知多ポーク、酪農、魚介、お米、花卉、地酒、醸造、知多四国お遍路、

多くのポテンシャルを秘めた知多半島であるが、5市5町という自治体の多さにより、各分野における連携がスムーズに行われていない実情もある。

～知多半島は、力を合わせれば、すごいパワーを秘めている！？～

右の表を見てわかる通り、知多半島の5市5町を合計すると、面積は約 390 km²、人口は約 63 万人、一般会計は 2,100 億円を超え、愛知県内の中核市をはるかに上回り、他地域の政令指定都市にも匹敵する規模である。

現状では、消防、警察、病

市町村名	人口 (約万人)	面積 (km ²)	議員 (定数)	一般会計 (約億円)		自治体名	人口 (約万人)	面積 (km ²)	議員 (定数)	一般会計 (約億円)
半田市	11.8	47.4	22	363	中核市	岡崎市	38.6	387.2	37	1,235
東海市	11.3	43.4	22	435	中核市	豊田市	42.5	918.3	45	1,803
大府市	9.1	33.7	19	312	中核市	豊橋市	37.3	261.9	36	1,259
知多市	8.4	45.9	20	270						
常滑市	5.8	55.9	18	230	指定都市	静岡県静岡市	69.6	1,411.9	48	3,122
東浦町	4.9	31.1	16	149	指定都市	岡山県岡山市	72.0	789.9	46	3,171
武豊町	4.3	26.4	16	130	指定都市	神奈川県相模原市	72.2	328.8	49	2,935
阿久比町	2.8	23.8	14	93	指定都市	熊本県熊本市	73.8	390.3	48	3,653
美浜町	2.3	46.2	14	75		※2018年 参考				
南知多町	1.8	38.3	12	70						
知多半島 合計	62.5	392.1	173	2,127						

尚、政令指定都市は、権限移譲により、2017年度より、教職員給与が一般会計に組み込まれている。

院、斎場、ごみ処分など、市町の連携は行われているが、より一層まちづくりを推進していくために、横断的な組織づくりを考えていくべきである。



インフラ

知多半島の西海岸には、名古屋港、セントレア空港島へのアクセスを向上させる、西知多道路の整備、セントレアの二本目滑走路など。中央部には国内初の有料道路コンセッションによる関連事業の整備（愛知多の大地）など。東海岸へは、衣浦港や西三河とのアクセス向上のため、西三河知多アクセス道路、衣浦大橋の架け替えなど。知多半島が一体となった整備を行う事が必要である。

国際空港

空港島には国際展示場 Aichi Sky Expo(19 秋オープン予定)、フライトオブドリームス等の商業施設、今後の MICE 誘致を見越した発展性がある。空港島対岸の、りんくう地域にも産業・集客拠点が集積しており、今後の地域経済のエンジンと成り得る。

医療・健康

大府市と東浦町にまたがる、あいち健康の森公園周辺には、国立長寿医療研究センター、あいち小児保健医療総合センターなど健康医療の一大拠点である。近接する認知症研究センターもあり、認知症対策モデル、あいちオレンジタウン構想に、国、県を上げて現在取り組んでいる。また、げんきの郷も併設しており、地産地消、食を切り口とした一大拠点でもある。

観光

風光明媚な自然と、豊かな食材を活かした観光産業は古くから盛んであり、最近では、海水浴、温泉といった旧来のコンテンツのみならず、夜の工場を洋上から観るツアーや、医療ツーリズムなど、新たな観光も模索している。昇竜道の拠点であり、アジア圏からのインバウンドに期待をすると同時に、名古屋駅、セントレアと近接している立地から、国内外から観光客を呼び込む力を有している。市町ごとでない、地域一体とした取り組みが重要である。

～知多半島が力を合わせることの意義～

知多半島の市町は、それぞれに魅力的なポテンシャルを秘めている。しかし、今後のまちづくりや、国への要望、民間事業者との折衝などを考えていくうえでは、市町単位でそれぞれの事業体と交渉をしていくよりも、知多半島地域が一丸となって事にあたっていく方が有効である。加えて、市町の結節点における社会資本の整備が目に見えて脆弱である等、様々な現状の課題も踏まえて、今までのまちづくりの反省は不可避である。広域行政を作り上げるには、広域な議会活動が必要不可欠である。

上記の様な、社会資本整備、国際空港を活かした地域づくり、健康、医療、観光などを広域的に考え、連携していくことにより、地域の力を一層増強し、魅力溢れる知多半島を構築していくことが、新政あいちの役割であると考えます。

よって、各市町が、それぞれに進める、独りよがりになるようなまちづくりではなく、しがらみのない、広域的な提案をし、政策実現のために一致団結し得る行政体の形を考え続けることを、提案し続ける。広域行政連携や市町合併、また道州制までも視野に入れた地域づくりを模索していくこととする。